

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（概評）

【数 学】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 数学科の目標を達成するために、ヒントと解答のある「クイックチェック」を通して、より短いスパンで学んだことを確認することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、算数と数学の学びをつないだり、日常生活や社会の事象に関わる問題を発見・解決したりすることで、生徒の主体的な学びを促すような構成・配列の工夫が見られる。
4 大日本図書	(1) 数学科の目標を達成するために、練習問題を補充する「プラス・ワン」等で、練習だけでなく、確かめや振り返りも行うことで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、話し合い活動を通して見出した事柄を、その後の例題や練習問題の解決につなげていく学習過程が、各節ごとに丁寧に示されるなどの構成・配列の工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 数学科の目標を達成するために、授業や家庭学習で活用できる「計算力を高めよう」を通して、多くの問題にチャレンジすることで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、「章・節のとびら」を設定し、身の回りの生活や数学の学習の中から、生徒が自ら問題を発見し、考えることができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 数学科の目標を達成するために、基礎・基本を確認できる「学習のまとめ」から活用問題の「章の問題」へと段階的に取り組むことで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、小中や各学年の滑らかな接続に配慮し、章を学習する前に既習事項を振り返ったり、学び直しをしたりする問題を設定するなどの構成・配列の工夫が見られる。
61 新興出版社啓林館	(1) 数学科の目標を達成するために、基本・応用問題に加え、学習したことを自分の言葉でまとめる振り返りの場面を設定することで、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、節の始めの「学習のとびら」では、数学を学ぶ意義と有用性を実感し、話し合い活動を通して解決の見通しをもつことができるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
104 数研出版	(1) 数学科の目標を達成するために、練習問題や「学んだことを活用しよう」等のデジタルコンテンツを各単元で豊富に活用することによって、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、各章に「ふりかえり」を設定し、学び直しを行うとともに、巻末の既習事項をまとめたページで前学年とのつながりを確認できるようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。
116 日本文教出版	(1) 数学科の目標を達成するために、各自で取り組める多様な問題が章末に用意され、基本から発展まで習熟度に応じて取り組めるなどの、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。また、既習事項である基礎的・基本的な内容を必要な場面で確かめることができる「確かめ」で、生徒のつまづきを未然に防ぐようにするなどの構成・配列の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「深い学びのページ」では課題解決の流れをページ枠に示し、個人で思考した後、次ページで話し合い活動などを行い、学習内容を深めることができる構成にすることで、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、学習の土台となる内容をまとめた「学びのベース」を巻末に設定することで、前学年までの学習内容を振り返ったり、小中学校の学びのつながりを確認したりすることができるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、各章末に「活用の問題」を設定し、身に付けた知識・技能を活用して社会の事象に関わる問題を解決する過程で、自ら考え表現する力を高める問題に取り組めるようにするなどの工夫が見られる。</p>
4 大日本図書	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、各章の「利用」の課題では、思考の段階に対応させて問題発見・問題解決の流れをページの端に示し、仲間と協力して問題解決に取り組んだり、解決の過程を振り返ったりするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、学習内容を振り返るとともに、学習を広げたり活用したりする問題「学びにプラス」を設けることで、数学のよさを実感し、主体的に問題に取り組んだり、学びを深めたりすることができるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、学習内容をもとにして考えが正しいかどうかを判断する問い「判断しよう」や、数学用語や図などを使って周りの人に共通点や違いを伝え合う問い「伝えよう」を設定するなどの工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、節の導入で身近な題材から疑問を見つけ、「Q」では話し合い活動から目標を立て、「数学的活動のページ」では、問題を発見し答えに至るまでの過程を丁寧に示すなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、「例」の中にノート形式で、模範的な解答の書き方を示し、解答のポイントになる部分を吹き出しで補足することにより、ノート整理の基礎・基本を身に付けることができるなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、「説明する力をつけよう」では、なぜそうなるのか、相手に分かりやすく表現する力を身に付けるとともに、巻末では、レポートの作成方法や発表の仕方を具体的に示すなどの工夫が見られる。</p>

17 教育出版	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「？(疑問)」から、「！(わかったこと)」を見出し、「！？(新たな疑問)」へつなげる数学的活動のサイクルを位置付けて、一人一人の生徒が問いをもって学び合えるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、「例」と「問」の間に「たしかめ」の問題を配置することで、学習した内容を繰り返し確認するとともに、スモールステップで練習できるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、「学びのプロセス」で、思考の流れを具体的に示し、自分で考える過程や他者に考えを伝える過程を通して、学習内容をさらに深めていく活動を数多く設けるなどの工夫が見られる。</p>
61 新興出版社啓林館	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、2つの標識「学びをひろげるときに役立つ考え方」「解決するときの考え方」を示すことで、大切な考え方を自然に体得させ、単元末では、分かったことなどをまとめる場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、多種多様な「例」や「例題」を数多く配置し、直後にそれらを参照しながら解くことができる「問」を配置することで、生徒の学習内容の定着を促すなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、「説明しよう」や「話しあおう」で、事柄が成り立つ理由を説明したり、他者と自分の考えの違いを理解して正しい考えを伝えたりする活動を設けるなどの工夫が見られる。</p>
104 数研出版	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「Q」や「TRY」の場面を中心に、生徒と先生のキャラクターの発言から課題を別の角度で捉え、新たな疑問をもたせ、学習の内容の理解を深めようとするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、デジタルコンテンツ「Link補充」で、既習内容を振り返る問題や反復問題、さらには発展的な問題を豊富に設定することで、目的に応じて生徒自らが練習問題を選択できるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、「方法の説明」や「理由の説明」で、生徒同士の会話の中から同じように考えたり、具体的な数で考えたりする活動を通して、伝え合う力が高まるようにする場面を豊富に設けるなどの工夫が見られる。</p>

116 日本文教出版	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、問題解決型の「学び合おう」では、自分で考え、対話を通じて学び合う問題解決の過程を示し、また巻末には「ふり返りシート」「対話シート」を用意し、考える力や説明する力を高めるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 「知識及び技能」を習得できるように、二次元コードでアクセスできる「身につける」では、練習問題が豊富に配置されており、生徒が何度でも繰り返し問題に取り組むことができるようにするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように、章末の「説明できるかな？」では、「大切な見方・考え方」で示された事柄を活用し、方法や理由などを数学用語を使って説明する場面を設けるなどの工夫が見られる。</p>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、キャラクターの吹き出しに「同じように考えると」や「それなら」という文言をつけ、学びのつながりを自覚できるようにするとともに、より細かな単位で理解を確認する「クイックチェック」を設けることで、生徒自身がつまずきを早期に発見できるような工夫が見られる。
4 大日本図書	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、ウェブコンテンツを使って学習を深めることができる場面にマークをつけ、シミュレーションや動画、資料などのコンテンツを用意するとともに、付録に各学年のまとめを掲載し、使用時に教科書から切り取って冊子として持ち運ぶことができるような工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、領域ごとに「ふりかえり」のページを挿入し、単元導入時にスムーズにその学年の学習に入っていけるようにするとともに、「さらなる数学へ」では、1年間の学びを生かして、日常生活や社会の様々な課題を考察したり解決したりできるような工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、各章の終わりに設定した「章の問題」を「たしかめよう」→「力をのばそう」→「学んだことを活用しよう」という構成にするとともに、デジタルコンテンツ「まなびリンク」で解決の手立てを示すなど、生徒の理解度に応じて学習を進めることができるような工夫が見られる。
61 新興出版社啓林館	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、単元内にある節の学習を進めれば解決できる身の回りの問題を、すべての節の先頭に「学習のとびら」として設定するとともに、場面理解や話し合い活動、試行錯誤する活動をサポートするコンテンツなどを用意し、学習内容の理解を促すような工夫が見られる。
104 数研出版	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、本文や例を丁寧に記述し、要所で図解を用いることで、生徒自身で理解を深められるようにするとともに、教科書の内容を補充する動画や資料などの5種類のコンテンツを用意し、多様な生徒に合った学びができるような工夫が見られる。
116 日本文教出版	(1) 学習効果や使用上の利便性を図るため、デジタルコンテンツを使うと有効な場所に二次元コードを配置し、その上に分類を付記するとともに、生徒が苦手を克服できるように、まちがえやすい箇所に「誤答に注意！」を表示したり、「表現の例」として分かりやすい説明を具体的に示したりするような工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

(観点4) 本地区の生徒の実態や課題に対応し、生徒に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、章の始まりや節の導入、「数学のまど」で日常との関連を図ったり、章末の「深い学び」では、解決したくなる問題場面を用意し、側注に問題解決の過程を示したりすることで、興味・関心をもって学習に取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、「学びをふり返ろう」や「学びのベース」を挿入したり、章末の「深い学び」では、問題発見・解決の過程や意図を示したりする工夫が見られる。</p>
4 大日本図書	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、各章に「活用・探究」を設け、数学を学ぶことの面白さや考えることの楽しさを味わえるようにしたり、項の導入には「考えよう」を設置して、問題や疑問を見出したりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、「章をふり返ろう」や巻末の「小学校算数のふり返り」を挿入したり、各章の利用問題では、側注に問題発見・問題解決の流れを示したりする工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、節の導入では身のまわりから問題を発見したり、発見した疑問を数学化・焦点化した問題「Q」について、側注の「見方・考え方」や生徒の吹き出しから自ら見通しを立てて解決しようとしたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、「確かめよう」や領域ごとに「ふりかえり」を挿入したり、「見方・考え方をまとめよう」では、問題発見・解決に向けた思考の流れを整理したりする工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、「Let's Try」で実社会や日常生活等の話題を示したり、「?(はてな)」から、「!(なるほど)」を見出し、さらに「!? (だったら)」へつながる構成にしたりして、問いをもって取り組めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、各章に「学習する前に」や「学習のまとめ」を挿入したり、各章の利用問題では、学びのプロセスとして問題発見・解決の過程を紙面の右に側注で示したりする工夫が見られる。</p>

61 新興出版 社啓林館	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、章の導入や「数学ライブラリー」では数学が関係している身の回りの題材を挿入したり、側注に「同じように考える」や「範囲を広げる」などの標識を示すことで、問題を見出し、解決しようとしていたりすることができるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、巻末に「1年生のまとめ」を挿入したり、各章末の利用問題の側注に示された3つのステップの考え方で、数学的な問題発見・解決の過程を促したりする工夫が見られる。</p>
104 数研出版	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、「TRY」や「Q」の活動場面を中心に、生徒キャラクターの吹き出しから新たな学習内容の必要性を考えたり、身の回りにある事から数学的事象を見出し、様々な場面で活用しようとしていたりする態度を身に付けられるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、各章の前に「ふりかえり」を挿入したり「学んだことを活用しよう」では、生徒キャラクターの吹き出しを示したりすることで問題発見・解決ができるような工夫が見られる。</p>
116 日本文教 出版	<p>(1) 生徒が日常生活との関連に気付き、自ら粘り強く学習しようとする態度を育むために、「身近なことがら」の問題を挿入し、数学を日常生活に生かそうとしていたり、章の導入や「数学のたんけん」では、興味を引く身近な事柄を数学の問題として捉え、知的好奇心を高めたりするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生徒が既習事項や分かっていることを整理し、見通しを立てて論理的に考えることができるように、各章の直前に「次の章を学ぶ前に」やページ横の「確かめ」で基礎的・基本的な内容を確認めたり、巻末の「対話シート」では、問題解決の過程を促したりする工夫が見られる。</p>